

株主の皆様へ

第117期 中間報告書

(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

YODOGAWA STEEL WORKS

Steel sheet / Building material / Exterior / Roll / Grating



(重要文化財 ヨドコウ迎賓館)

株式会社 **淀川製鋼所**

証券コード 5451

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社の第117期第2四半期累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）の事業の内容につきましてご報告申し上げます。

平成27年12月

代表取締役会長

國保 善次

代表取締役社長

河本 隆明



國保会長（左）と河本社長（右）

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、ゆるやかな回復基調にあると考えられますが、勢いを欠く状況で推移しました。住宅着工は消費増税後の落ち込みからの回復が見られ、家電販売も夏季の猛暑などから概ね好調に推移しましたが、公共工事は低調に推移し自動車生産も前年割れが続くなど、期間の後半にかけ停滞感が強まっております。

世界経済は、米国は継続して着実な回復を見せましたが、中国では減速傾向が強まり世界経済への影響が懸念されております。

鉄鋼業においては、日本国内市場は自動車・建設向けともに需要が力強さを欠いたことから高炉メーカーを

中心に生産調整が行われ、粗鋼生産は前年を下回る状況で推移しましたが、在庫調整にはなお期間を要する状況となっております。円高是正からようやく増勢が一服していた輸入材は、海外鉄鋼市況の悪化に伴い期間の後半には日本国内への流入が再び増加しました。海外鉄鋼市場は、中国の景気減速感がさらに強まったことから、中国鉄鋼業の輸出が増勢を強めており、世界的な市況低迷と通商摩擦の要因となっております。

このような環境のなか、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高854億36百万円（前年同期比9億99百万円減）、営業利益31億18百万円（同7億60百万円増）、経常利益36億15百万円（同2

億76百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純損失51億72百万円（前年同期は18億36百万円の利益）となりました。市況が停滞するなか、価格重視の販売活動とコストダウンに努めましたが、前期に機械プラントで海外大口物件の売上計上があった要因などから、減収となりました。

なお、中国の連結子会社であります淀川盛餘（合肥）高科技鋼板有限公司（YSS社）におきましては、2013年6月の操業開始以降、早期の軌道乗せに取り組んでまいりましたが、昨今の中国鉄鋼市場における急激な環境の悪化を鑑み「固定資産の減損に係る会計基準」に基づく減損測定を行った結果、YSS社の保有する機械装置等につきまして約59億円の減損処理を行い

ました。また、当社連結子会社でありますヨドコウ興発（株）の保有するスポーツ施設における減損額約6億円、およびYSS社に係るのれんの減損を含め、併せて約66億円の減損損失を計上いたしました。

今般、YSS社におきまして会計基準に従い多額の減損損失を計上しましたが、YSS社が当社グループの事業戦略上、最も重要な生産・販売拠点の一つであることに何ら変わりはなく、今後もグループの総力を挙げて早期の軌道乗せを図ってまいります。

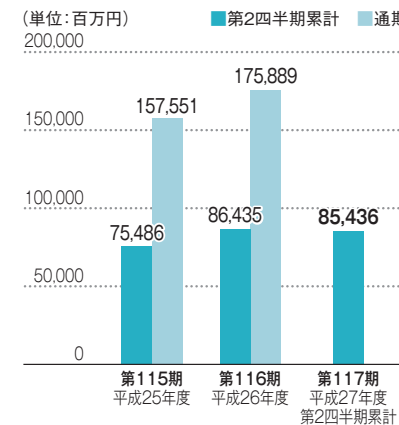
なお、中間配当金につきましては、1株当たり5円とし、12月1日よりお支払することといたします。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

連結業績の推移

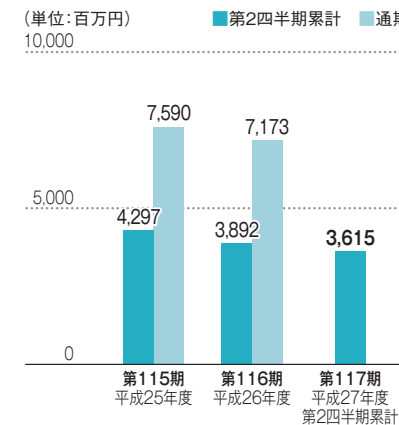
売上高

前年同期比 **1.2%減**

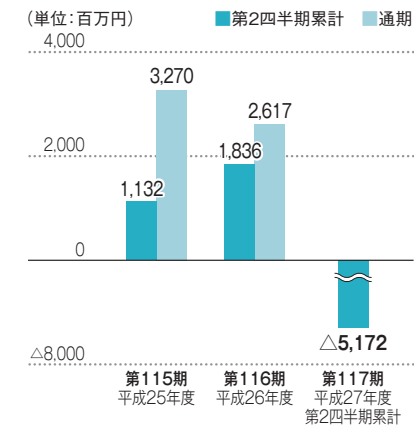


経常利益

前年同期比 **7.1%減**



四半期純利益



“日本品質”のプレコート鋼板を
家電・建材向けに供給

PCM PROCESSING
(THAILAND) LTD.

PCM PROCESSING (THAILAND) LTD. (PPT社) は
1999年、タイのチョンブリ県アマタナコン地区に設立されま
した。アマタナコンはバンコクから南東約80kmに位置するタイ
最大の工業団地です。現在約600社の企業が入居しており、
その約7割が日系企業です。

PPT社は、ASEANに生産拠点を持つ日系家電メーカー様
向けに、それまで日本から輸出していた切板製品のデリバ
リー・品質サービス向上を図るためにコイルセンターを稼働さ
せたのが事業の始まりです。顧客からの現地生産要望のほか、
競争力強化、市場開拓を図るため、2013年に連続塗装ライン
を新設し、稼働を開始しました。

設備はプレコート鋼板用の連続塗装ライン1基のほか、コ
イルセンターに、大型レベラーライン2基（うち1基にエンボス
装置付）、シートスリッター1基を保有しています。

PPT社の主要業務は、原材料となる亜鉛めっき鋼板を世
界各国から調達するとともに、副原料である塗料をタイで現
地調達することでコスト低減を図り、競争力のあるプレコート
鋼板を製造・販売することです。

プレコート鋼板はすでに塗装済であるため、顧客の塗装作
業・廃液処理の手間を省くことができる製品です。耐食性な
どの機能性や意匠性、加工性にも優れ、主に家電用途として
冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、エアコン、建材用途として
屋根、壁、パネルなどに使われています。

2013年にプレコート鋼板製造を開始しており、安定した品
質と納期対応がPPT社の最大の強みです。

また、最終工程であるコイルセンターを独自に持つことに
より、顧客が要望するサイズに切板加工し、ジャストインタイム
で納入するとともに、品質の一貫管理を実現しています。従
業員数 148人（2015年9月30日現在）のうち55%を女性
が占めており、あらゆる面できめ細かな対応を実践できること
もアピールポイントです。

PPT社からASEAN域内への製品供給を行うことで、海外

に生産拠点を展開している日系企業に対する顧客満足度向上
を実現するとともに、拡大する需要を取り込み、プレコート製
品の販売を拡大しつつあります。

近年は、さらなる企業価値向上の取り組みとして
「ISO9001」（品質マネジメントシステム）、「ISO14001」
（環境マネジメントシステム）、また「OHSAS」（労働安全
衛生システム）の認証を取得しています。また、淀川製鋼所
による技術指導・外部コンサルタントの導入、従業員に対す
る日本語教室の開催などによる人材育成を強化し、さらなる
競争力強化に向けて取り組んでいます。

このほか、現地における地域貢献として、小学生に対する
教育支援「奨学金プロジェクト」へも参加しています。

2015年末にはAEC（ASEAN経済共同体）発足が予定
されており、域内におけるヒト・モノの移動の障壁が低くなり、
ビジネスチャンスの拡大が期待されます。

今後は、市場の変化を着実に捉えながら、日系以外の家電
メーカー、建材業者にも拡販を図っていきます。

代表者からのメッセージ

タイの経済は、主要産業である
自動車の販売不振が続くとともに
中国経済減速の影響から輸出が
減少するなど厳しい状況が続い
ております。このような厳しい環
境下で、PPT社としましては、家
電向けPCM・建材向けカラー鋼
板のいずれにおいても、淀川製鋼
所のノウハウを活用することで、顧客の様々なご要望に
応える機能を実現するとともに、今後増加が見込まれる
建材市場向けに、高付加価値商品を投入し、需要の掘り
起こしを図っていきます。その一例として、タイでは食品
冷凍倉庫が多いことから6月に抗菌鋼板の販売を始めま
した。建材商品の製造・販売・施工を手掛けるYODOKO
(THAILAND) CO., LTD.との連携強化もすすめ、PPT
社のブランドをさらに普及させ、拡販に取り組みます。



PCM PROCESSING
(THAILAND) LTD.
社長 田中 栄一

会社概要

商 号	PCM PROCESSING (THAILAND) LTD.
所 在 地	タイ アマタナコン工業団地
会 社 設 立	1999年4月
代 表 者	田中 栄一
資 本 金	13億7,725万9千バーツ
従 業 員 数	148名
事 業 内 容	塗装鋼板製造、鋼板加工および販売
主 要 設 備	連続塗装ライン 1基 大型レベラーライン2基（うち1基にエンボス装置付） シートスリッター 1基



ヨド耐火パネル「グランウォール」 外壁材市場で急伸長 職人不足解決に一役

省施工性、断熱性に強みのある金属製サンドイッチパネルに耐火性が加わった新商品「グランウォール」。昨秋の発売以来、予想を大きく上回る引き合いをいただいております。開発の経緯と市場の手応えについて、開発および営業の担当者に聞きました。

—— 開発に至った背景は？

吉宮 当社には、鋼板の間に芯材として硬質プラスチックフォームをはさんだ「ヨドファインパネル」があります。ビルの外壁材として普及しているALC*パネルと比べ施工性、断熱性に優れているのですが、用途が限られておりました。近年、建築業界では職人不足が深刻になっていることから施工性に優れた金属製サンドイッチパネルに注目が集まっており、ぜひ耐火性を加えた商品をという要望が増えてきていました。

—— 耐火性を加えた商品を開発するにあたって、どのような課題があったのでしょうか？

谷村 耐火性を加えるには、芯材を硬質プラスチックフォームからロックウールに替える必要

がありました。当社では「バリアロック」という商品でロックウール芯材を採用していますが、グランウォールとは製造工程が大きく異なりました。生産にあたっては、その製造技術を高めるため、現場の方々と一丸となって問題解決に努めました。またこの商品の最も重要なポイントは、耐火構造の認定取得です。金属製サンドイッチパネルは、パネル同士をはめあわせてつなぐ工法を採用するので、そのつなぎ目に高度なノウハウが必要です。パネルのつなぎ目の隙間に火が通ることを防ぐ方法を模索する中で、当社の過去の特許をさかのぼったところ、つなぎ目に耐火性能の高い材料を詰める手法があり、そのノウハウを活用して解決を図ることができました。

※ ALC…軽量気泡コンクリート

開発本部開発部
企画開発第二グループ
グループリーダー
谷村 明彦

営業本部営業二部
工事グループ
グループリーダー
吉宮 洋

—— お客様から予想を超える引き合いがあったそうですね。

吉宮 昨年6月に「新商品発売のお知らせ」を発表して以来、発売前からお客様には大きな期待を持っていただき、早くから数件の計画で採用も決めていただいていた。第一号の物件においても当社の商品力を信頼していただき、製造・開発部門と緊密に連携を取った結果、過密なスケジュールの中、無事納期に間に合わせる事ができました。

—— お客様が「グランウォール」に期待されているのはどのようなところでしょうか？

吉宮 従来のALCの外壁材に比べ施工が容易で、約1/3の工期で外壁工事を進められるところです。また、足場を組まずに高所作業車とクレーンがあれば施工できることや、後工程の塗装作業も不要なため、より少ない職人で施工ができるだけでなく、工期も短縮でき、建築総コストを抑えることも大きなメリットとして感じていただいています。さらにALC

に比べ約3倍の断熱性能を持っているため、建築主に室内空調にかかるランニングコストを低く抑えることもアピールできます。

大型ショッピングモールや物流倉庫でご採用いただき、現在生産能力を大きく上回る引き合いをいただいている状況です。長期的に見ると、職人はますます不足してくると思われるため、「グランウォール」のニーズが高まると確信しています。

—— 「グランウォール」をさらにどのように展開させていきたいと考えていますか？

谷村 現在は最も厳しい基準である耐火1時間構造の認定を取得していますが、市場の要望に合わせて、商品の品揃えを充実させていく予定です。

吉宮 外装向け金属パネルの市場は約230万㎡、ALCは約400万㎡と言われており、旺盛な需要に対応するため、製販一体となって拡販に取り組んでまいります。

NEWS

株式会社北川様 新事務所にて「グランウォール」をご採用いただきました。

福井県福井市に本社を置く、株式会社北川様。建築用金属資材のトータルプロデューサーとして、壁・屋根などの企画・設計・加工から施工・管理・販売までを行う県内トップシェア企業です。このたび新事務所壁面に「グランウォール」をご採用いただき、お話を伺いました。

所在地 〒918-8543
福井県福井市問屋町2-65
事業内容 建築用資材の加工・販売・金属工事



株式会社北川
代表取締役社長
北川 頼子様

断熱性や施工性に優れ、コストパフォーマンスも高く、意匠性も兼ね備えたグランウォールを新事務所の外壁に採用しました。工期の短縮につながった上、端正な外観に仕上がりました。断熱性能も素晴らしく、エアコンの効きが抜群です。社員にも「快適な環境で仕事ができる」と好評で、一年を通じて相当な空調費の削減にもつながりそうです。弊社新事務所を現物の展示場として活用し、この素晴らしい商品を当社の商材として取扱い、拡販していきたいと考えております。

(株)北川様
新事務所

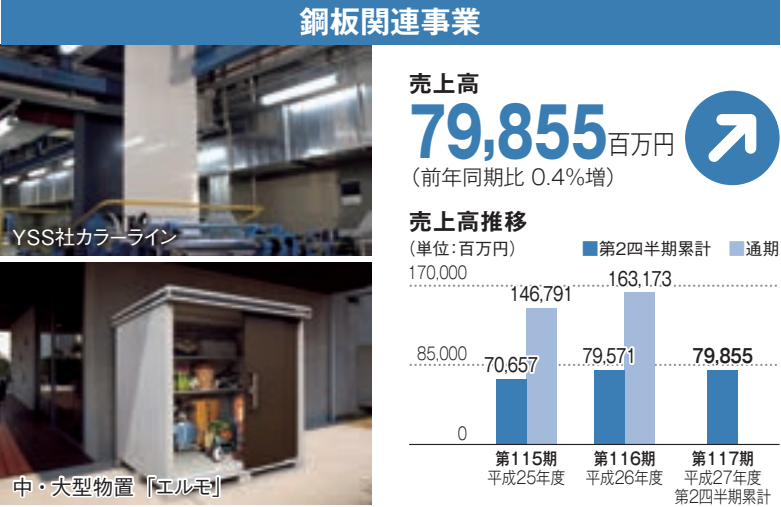
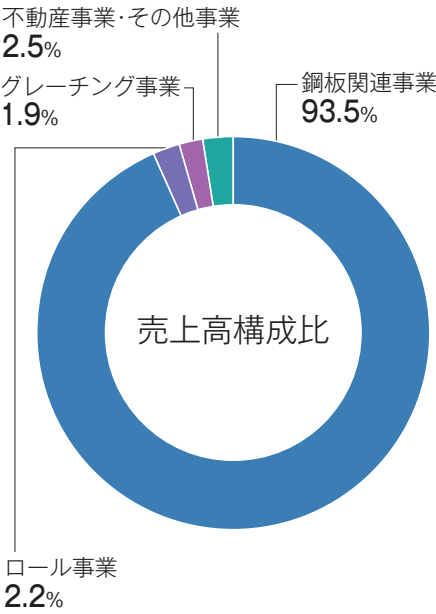


売上高 **85,436** 百万円
(前年同期比 1.2%減)

営業利益 **3,118** 百万円
(前年同期比 32.2%増)

経常利益 **3,615** 百万円
(前年同期比 7.1%減)

四半期純利益 △ **5,172** 百万円



鋼板業務

日本国内は、めっき商品で需要が伸び悩み・輸入材流入などの影響で販売量減少するもカラー商品は建材大口需要家向けに健闘

台湾の盛餘股份有限公司(SYSCO社)の米国向け輸出は、中国・韓国・台湾などの表面処理鋼板に対するアンチダンピング提訴の影響で不透明感が高まる

今後の取り組み

- 日本国内では、市況の不透明感が増す中で、下期の需要を確実に捕捉
- 中国のYSS社では、淀鋼建材(杭州)有限公司(YBMH社)との協力関係強化を含め販売チャネルの拡充に最注力

建材業務

建材商品は、物流倉庫・製造業を中心に引き合いが増加、ルーフを中心に増収・増益

小型物置が苦戦するも、昨年7月にリニューアルした中・大型物置「エルモ」が底上げに寄与

ガレージ・倉庫などの大型商品も短工期が評価され、事業所向けが増加

工事は、本年4月に東京チームを立ち上げ、引き合い好調

今後の取り組み

- 建材商品では、引き合い好調な「ヨド耐火パネル グランウォール」のラインアップを強化
- エクステリア商品では、施工性について好評をいただいている新型エルモの関連商品(エルモシャッター・エルモ連統型)への展開に取り組む
- 工事では、省施工の提案により工期全体の短縮に貢献し、さらなる拡販をめざす



鉄鋼向けワークロールの更新需要を捕捉し、増収

顧客への高付加価値品(YPM製ハイスロール*など)提案を進めるなど価格改善に取り組み、黒字化

今後の取り組み

- 引き続き高付加価値品の提案強化とコスト削減に注力

※ YPM製ハイスロール…従来の材質に比べ、耐磨耗性を大幅に改善したロール(Yodogawa Padding Process with Molten Metal)



公共事業発注の遅れや職人不足等による工期遅延が影響し、数量微減だが価格は改善

川下営業に継続して取り組み、空港・青果市場・スタジアム関連などで実績

今後の取り組み

- 新規販路の開拓とプロジェクト案件の追跡・獲得
- 当期よりめっき工程を内製化し、さらなる競争力向上を図る



不動産事業は、賃貸収入の増加などから増収

エンジニアリング業務は、アジア・アフリカ向けに波付機や成形機を販売

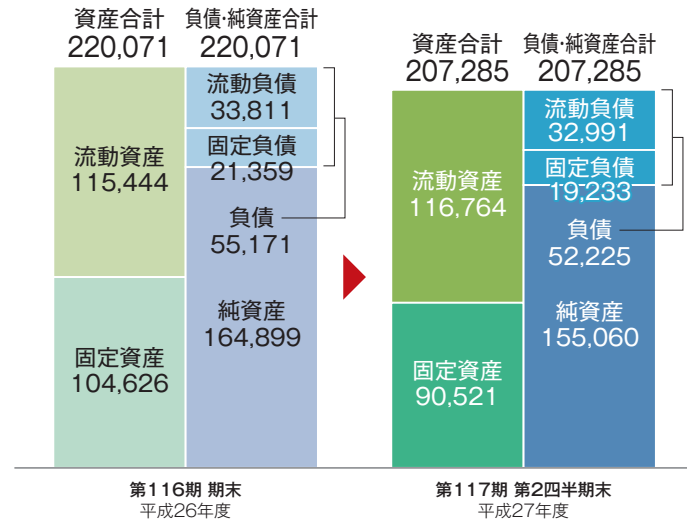
その他事業は、ゴルフ場の減損処理を行い特別損失計上

今後の取り組み

- エンジニアリング業務では、海外での技術指導業務に注力
- ゴルフ場は、さらなる顧客満足度向上に取り組む収益力強化を図る

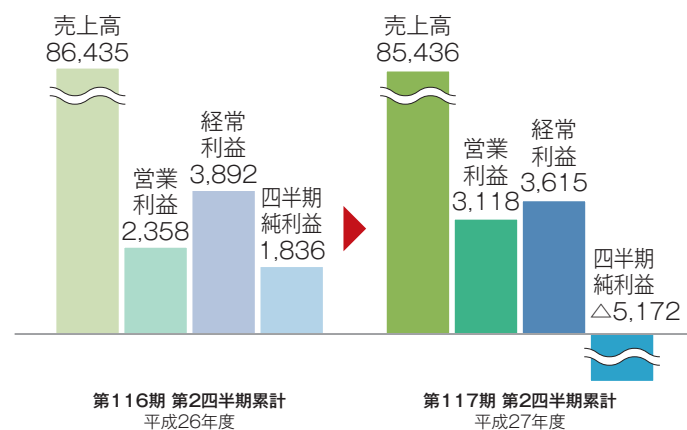
連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



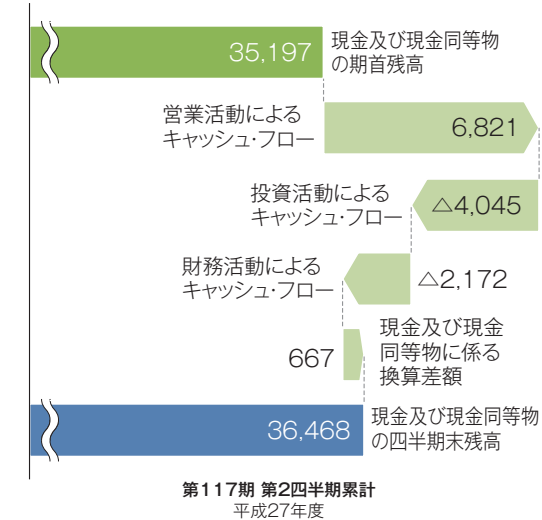
連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



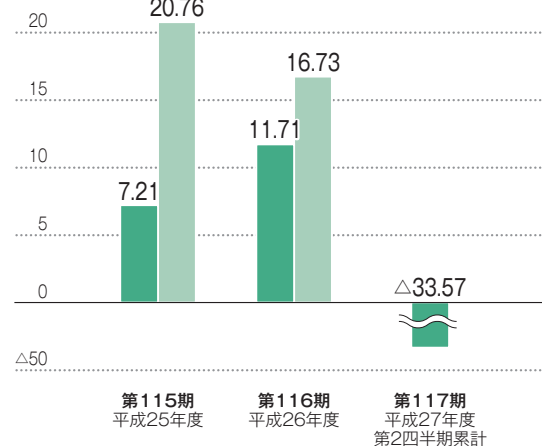
連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



1株当たり四半期(当期)純利益(連結)

(単位:円)



当社の概要

社名	株式会社淀川製鋼所
設立	昭和10年1月30日
資本金	23,220,815,228円
従業員数	1,198名

当社の主な事業所

本社	〒541-0054 大阪市中央区南本町四丁目1番1号 06-6245-1111
支社	〒104-0041 東京都中央区新富一丁目3番7号 03-3551-1171
営業所	札幌、盛岡、仙台統括、新潟、長野、高崎 東京統括、横浜、静岡、北陸、名古屋統括 大阪統括、神戸、岡山、広島、高松統括 高知、八幡、福岡統括、鹿児島、沖縄
工場	大阪(大阪府)、呉(広島県)、市川(千葉県) 福井(福井県)、泉大津(大阪府)

当社の主な関係会社

● 連結子会社

高田鋼材工業株式会社	鋼板の加工および販売、倉庫業
盛 餘 股 份 有 限 公 司	鉄鋼製品の製造および販売
淀 鋼 商 事 株 式 会 社	鉄鋼卸業、運送業
京葉鐵鋼埠頭株式会社	倉庫業
ヨドコウ興発株式会社	ゴルフ場等経営および不動産賃貸
淀 川 盛 餘 (合 肥) 高 科 技 鋼 板 有 限 公 司	鉄鋼製品の製造および販売
PCM PROCESSING (THAILAND) LTD.	カラー鋼板の製造、加工および販売

● 持分法適用関連会社

株 式 会 社 佐 渡 島	鉄鋼卸業
---------------	------

当社の役員

取締役	執行役員
代表取締役会長	國 保 善 次
代表取締役社長	河 本 隆 明
取締役 専務執行役員	大 森 豊 実
取締役 常務執行役員	林 伯 眞 生
取締役 常務執行役員	岡 村 裕 一
取締役 常務執行役員	大 森 眞 哲
取締役 常務執行役員	二 田 隆 昌
取締役 執行役員	渡 辺 格
取締役 執行役員	服 部 一 郎
取締役 執行役員	中 野 善 博
取締役 執行役員	河 本 稔 夫
取締役 執行役員	隈 元

※佐伯善一および岡村裕の両氏は会社法に定める社外取締役です。

監査役

監査役(常勤)	境 口 勝 己
監査役(常勤)	森 岡 司 郎
監査役	湯 浅 光 章
監査役	宇 津 呂 修

※湯浅光章および宇津呂修の両氏は会社法に定める社外監査役です。

株式併合と単元株式数の変更に関するお知らせ

第116期定時株主総会の決議に基づき、平成27年10月1日をもって当社普通株式5株を1株の割合で併合し、単元株式数を1,000株から100株に変更しております。

ご連絡先 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
電話 0120-288-324(フリーダイヤル)

「ヨドコウ環境報告書2015」発行のお知らせ

当社の環境活動実績と社会貢献活動の報告を「ヨドコウ環境報告書2015」に取りまとめております。当社ホームページをご覧ください。

- 「ヨドコウ環境報告書2015」
<http://www.yodoko.co.jp/eco/report/2015/index.html>

株主メモ

決 算 日	3月31日
定 時 株 主 総 会	6月開催
基 準 日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要あるときは、予め公告して定めます。
単 元 株 式 数	100株（平成27年10月1日より） ※10ページのお知らせをご覧ください。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
株 主 名 簿 管 理 人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
事 務 取 扱 場 所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公 告 方 法	電子公告 ※当社ホームページをご覧ください。 http://www.yodoko.co.jp/

スチール! & アイデア!
ヨドコウ

〒541-0054 大阪市中央区南本町四丁目1番1号
TEL. (06) 6245-1111 (大代表)
<http://www.yodoko.co.jp/>



株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、証券会社の口座に記録されている場合と、特別口座に記録されている場合で異なりますので、下記の該当窓口までお問合せください。

証券会社の口座に記録されている株式

お手続き・ご照会の内容	お問合せ先	
● 単元未満株式の買取・買増請求 ● 届出住所・氏名などの変更 ● 配当金の受領方法・振込先の変更	口座を開設されている証券会社	
● 郵送物の発送・返戻に関するご照会 ● 未払い配当金に関するご照会※ ● その他の株式事務手続きに関するご照会	株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

特別口座に記録されている株式

お手続き・ご照会の内容	お問合せ先	
● 単元未満株式の買取・買増請求 ● 届出住所・氏名などの変更 ● 配当金の受領方法・振込先の変更	特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
● 郵送物の発送・返戻に関するご照会 ● 未払い配当金に関するご照会※ ● その他の株式事務手続きに関するご照会	株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

※ 未払い配当金のお支払いについては、株式会社みずほ銀行本店および各支店でもお取り扱いいたします。

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 ご連絡先

電話 0120-288-324（フリーダイヤル）
インターネット <http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>
郵送物送付先 〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

重要文化財

ヨドコウ迎賓館(旧山邑家住宅)のご案内



開館ご案内

開館日 水・土・日曜日と祝日
開館時間 10時～16時（入館は15時30分まで）
入館料 大人・大学生／500円 団体／400円（30名以上）
小中・高校生／200円 団体／100円（30名以上）

お問い合わせ

淀川製鋼所 広報課 06-6245-9103
ヨドコウ迎賓館 0797-38-1720
<http://www.yodoko.co.jp/geihinkan/>

